

街路灯設置事業 (一般会計補正予算)

質問 当初予算に比べて大きな補正額だが、件数が予想よりも大幅に上回ったということか。また、LEDとの割合等はどうか。

答弁 補助要綱に基づく街路灯の設置は、平成26年度実績で126灯であった。平成27年度はこれまでに120灯を設置してきたが、まだ13地区43灯の要望を受けており、その分の補正である。

今年度実施している街路灯に関しては、ほぼLEDで、昨年度の実績だと約93%がLEDを設置している。

市民厚生常任委員会

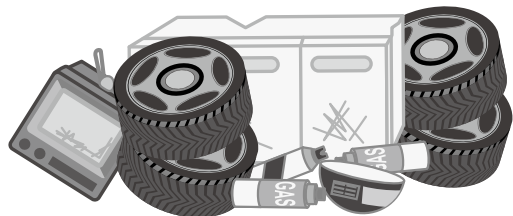
糸魚川市手数料条例の一部を改正する条例の制定1件、補正予算3件、決算認定5件、その他1件を審査しました。また、「介護予防・日常生活支援総合事業への移行について」の所管事項調査を行っています。

公害対策費 (一般会計歳入歳出決算認定)

質問 一般廃棄物最終処分場及び産業廃棄物処分場について、多額の費用と年数を要する工事が発生する原因は何だったのか。適正化工事が終わったとの報告だけで終わるのではなく、今後の資料として、行政のミスから始まった経緯、経過等を冊子にして、いつでも、誰でも見ることができるように教訓として残してもらいたいが、いかがか。

答弁 一般廃棄物最終処分場については、市が基準値以上の水銀を含んだ煤塵(ばいじん)を埋め立てたこと、また、産業廃棄物処分場については、市が埋め立てる物を確認していたが、不法投棄などへの管理体制が甘かったことによって起こってしまった。それを適正化するための工事を進めてきたが、その段階においても、地元の方々へ大変ご迷惑をおかけしたと思っている。

市野々地区の産業廃棄物処分場は、平成27年8月21日に完成し、大野地区の一般廃棄物最終処分場も今年度末くらいには工事が終わるので、この教訓を生かして、市としても記録を残し、担当する職員に引き継いでいき、教訓となるようなまとめをしていきたい。



糸魚川市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

質問 個人番号制度は、まだまだ市民に理解が浸透していない。様々な手続など不安を抱える市民が多いことから、市として今後どのような手順で市民への説明をしていくのか。

答弁 個人番号カードには、個人情報である氏名、住所、性別、生年月日の基本4情報が記載されている。この番号制度の運用に当たっての情報は、総務省、国税庁等から県を通して市に来ており、セキュリティ対策についても国からの情報を受けて、それに準じた形で対応していく。まず通知カードで全国民に番号が配布され、その後申請をしていただいてから、平成29年7月に国、県、市町村が繋がった段階で本格運用となる。いろいろな会議、懇談会、老人クラブの会合等へ出向かせていただき、市として説明する機会を増やしていきたいと考えている。



介護予防・日常生活支援総合事業への移行について(所管事項調査)

質問 総合事業の新しい構成の中で、医師、看護師等、医療の力が求められる部分はあるか。また、地域医療の資源が不足している中で、市役所の保健師を市民のために役立てることはまだまだあると思うが、そういったことは、この中で考えていないのか。

答弁 総合事業への早期移行については、現行のサービスを移行するというものであり、在宅医療と介護の連携については、県が中心となって行っている在宅医療連携協議会を、今後は市が中心となる形で取り組んでいく。また、市の職員の活用については、3~6か月の短期集中で行う、専門職による訪問型サービスにおいて活用していきたいと考えている。

